

富津市総合教育会議 会議録

1 会議の名称	令和5年度第1回富津市総合教育会議
2 開催日時	令和5年5月19日（金） 午後1時30分から午後2時19分まで
3 開催場所	市役所5階 502会議室
4 審議等事項	令和5年度の教育施策に係る重点取組事項について
5 出席者名	高橋市長、岡根教育長、藤平教育長職務代理者、坂部委員、池田委員、嶋野委員、平野教育部長、細谷参事兼学校教育課長、中山教育総務課長、大畑学校教育課主幹、三浦教育センター所長、宮崎主幹、樋口生涯学習課長、長谷川公民館長、鶴岡教育総務課庶務係長、刈込教育総務課主事
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	(理由)
8 傍聴人数	1人 (定員 6人)
9 所管課	教育部教育総務課庶務係 電話 0439-80-1340
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

発 言 者	発 言 内 容
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>ただ今から、令和5年度第1回富津市総合教育会議を始めます。</p> <p>会議の進行につきましては、地方自治法第180条の2の規定により、教育委員会が補助執行することとしていますので、私、平野が務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6号の規定により、原則公開となっております。</p> <p>本日傍聴人は、1人おられ、既に入室していただいております。</p> <p>それでは、次第に沿いまして会議を進めてさせていただきます。</p> <p>まず、始めに、高橋市長から御挨拶を申し上げます。</p>
<p>高橋市長</p>	<p>こんにちは。本日は大変お忙しいなか、令和5年度第1回富津市総合教育会議に委員の皆様には御出席いただき誠にありがとうございます。</p> <p>御案内のとおり、5月8日から感染法上のコロナウイルス感染症の扱いが2類から5類に位置づけが変更となりました。今日はお許しをいただきますマスクを外させていただきます。</p> <p>5月11日の早朝に大きな地震発生しました。木更津市におきましては、震度5強と東日本大震災以来の大きな地震だったのではないのでしょうか。おかげさまで市内の学校施設、教育施設に関して大きな被害は発生しておりませんが、私どもが抱えている施設は、すべてが老朽化しており厳しい状況ですので、今後とも大きな変化によらず、日々安全が保てるような心構えで臨んでまいりたいと思います。</p> <p>そして、コロナウイルスが一般的な病気になったときに、ようやくこの3年間の厳しい時代を抜けて、子供たちにも、市民の皆さんの生涯学習にもかつての楽しい時間、必要な機会を提供できるようになってきたのかなと思います。しかしながら、厳しい3年間の経験がありますので元に戻るだけではなく、今の時代に求められている必要な機会を作っていくことが、私たちに求められていることだと思います。しっかりと担当職員、現場の先生とともに悩んで考えて、良い機会を提供できればと思います。</p> <p>そうしたなか、本日の限られた時間ですので、議題は一点、令和5年度の重点取組事項についてです。その中には4月1日に開館しました市立図書館の報告等もあると思います。委員の皆様には忌憚のない意見を頂戴し</p>

	<p>たいと思います。</p> <p>今年も1年、委員の皆様の御意見に耳を傾けながら 市民の皆様により良い機会、子供たちに楽しい時間を提供できるように頑張りたいと思います。簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>次に会議録署名人の指名ですが、富津市総合教育会議運営要領第4条第3項の規定により、市長及び会議において指名した委員にお願いすることになりますので、高橋市長は、会議録署名人の指名をお願いいたします。</p>
<p>高橋市長 岡根教育長</p>	<p>はい。会議録署名人は、岡根教育長をお願いいたします。</p> <p>はい。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>承知いたしました。</p> <p>早速ですが、議事に入らせていただきます。</p>
	<p>本日の議題は、「令和5年度の教育施策に係る重点取組事項について」としております。事前に配付しました資料については、令和5年度に重点的に取り組む事業について、一覧表と、事業ごとに概要を記載したものとなっております。事業名の先頭に^{クロマル}●で示しているのが本年度の新規事項で、^{シロマル}○が昨年度からの継続事項です。</p> <p>最初に、主に新規事項について各担当課から説明をいたしまして、その後、市長及び教育委員会の皆様で意見交換をしてみたいと思いますのでよろしくをお願いします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>それでは、議題について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>はい。お手元の資料に沿って、御説明させていただきます。</p> <p>教育総務課から、御説明いたします。</p> <p>資料1の4ページ、資料2の1ページを御覧ください。</p> <p>先ず、新規事項「大佐和中学校屋内運動場改築事業」です。</p> <p>今年度は、使用を中止している大佐和中学校屋内運動場を建て替えるために必要な基本設計・実施設計業務、用地測量業務、地質調査業務、その他必要な業務を行い、あわせて国庫交付金の申請に必要となる既存屋内運動場の耐力度調査を実施します。</p> <p>現時点では建設候補地を旧富津市社会体育館跡地としていますが、敷地状況を調査のうえ、基本設計において決定いたします。</p> <p>次に、継続事項の1点目、「青堀小学校校舎改築に向けた基本構想・基本</p>

<p>事務局 (平野部長) 参事兼学校教育課長</p>	<p>計画の策定」は、令和4年度から検討委員会を設置し会議を重ねてまいりましたが、今、御説明しました大佐和中学校屋内運動場への対応を緊急に取り組むこととなり、工事着工を1年先延ばしし、令和8年度以降といたしました。これに伴い、令和5年度も引き続き、アドバイザーからの助言を得ながら、検討委員会において基本構想・基本計画の検討を継続することとしました。あわせて、今年度は敷地の用地測量を行う計画となっています。</p> <p>継続事項2点目は「良好な教育環境（施設・設備、備品）の提供」です。施設・設備関係と備品関係と2点について、それぞれに取り組を進めてまいります。</p> <p>施設・設備関係では、定期検査において指摘のあった防火設備の修繕のほか、児童生徒、教職員が安全に学校生活を送ることができるよう維持管理及び緊急対応を実施してまいります。</p> <p>備品関係では、理科教育振興備品を今年度は小学校に購入するほか、教育備品を学校間で貸し借りしやすい環境の整備、楽器の調達に新しい手法の導入を検討し、少しでも良好な教育環境となるよう取り組んでまいります。</p> <p>教育総務課の説明は、以上です。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>続いて、学校教育課所管の事業について事務局の説明をお願いします。</p> <p>はい。それでは、学校教育課から本年度の新規事項を中心に御説明いたします。</p> <p>資料2の3ページ、「中学校3年生学校給食費無償化事業の実施」について、令和5年度予算は、給食事業収入を1,887万3千円減額とするものです。</p> <p>事業の概要としては、令和5年度から重要な進路決定を控え経済的に負担が大きいと思われる世帯を支援するため、市内在住の富津市立中学校に在学している中学3年生の学校給食費を無償化するもので、令和5年4月から令和6年3月分の学校給食費を不徴収とし、保護者の手続きは不要となります。</p> <p>対象施設は、市立中学校の富津中学校、大佐和中学校、天羽中学校の3校となります。対象人数301人は、予算要求人数となります。令和5年4</p>
-------------------------------------	--

<p>教育センター 所長</p>	<p>月1日現在の中学3年生在籍人数は300人で、内訳として市内296人、市外4人となっており、市外の4人については、学校給食費を徴収することになります。</p> <p>予算概要につきましては、歳入の減額1,887万3千円で、調理場ごとの内訳として大貫共同調理場241人、1,511万700円の減額、天羽共同調理場60人、376万2千円の減額です。</p> <p>事業のスケジュールとしては、4月に保護者への通知「令和5年度富津市立中学3年生学校給食費無償化事業のお知らせ」を、学校を通じて生徒に配付いたしました。5月末日の口座引落とし分から不徴収となります。</p> <p>この後、教育センターの所管につきましては、教育センター所長の三浦から御説明いたします。</p> <p>はい、教育センターから御説明します。</p> <p>資料1の1ページ、資料2の3ページを御覧ください。</p> <p>「国際交流海外派遣の推進」について御説明いたします。</p> <p>現代の子ども世代が、今後、急速に変化する社会を力強く生き抜くために、世界で活躍できるグローバルな感性や豊かな人間性を身につけることが重要であると考えます。そこで、生徒の国際感覚を磨くとともに、語学力向上を図るために、姉妹都市であるアメリカ合衆国カリフォルニア州カールスバッド市への派遣を再開いたします。派遣先では、ホームステイや同世代の生徒との交流等、英語によるコミュニケーション機会を充実させたいと考えております。</p> <p>4月に、ホームページ・広報ふつつ・学校への募集チラシを配布しましたところ、教員2名、生徒15名の応募がありました。今月17日から数日に分けて選考会を実施しています。選考会の結果、決定しました教員引率者1名及び生徒4名は、富津市国際交流協会の会長と共に8月22日から8月28日までカールスバッド市に行ってまいります。</p> <p>合計予算概要は、資料のとおりとなっておりますが200万円の補助金で往復の航空券、保険料等について市が負担することとなっております。</p> <p>戻ってまいりましたら、貴重な経験や豊かな学びについて報告会を予定しております。</p> <p>続きまして、新規事業、「部活動地域移行の推進に係る検討」について御説明いたします。</p>
----------------------	--

<p>事務局 (平野部長) 生涯学習課長</p>	<p>4 ページを御覧ください。</p> <p>令和4年6月6日にスポーツ庁から「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」が、12月27日にスポーツ庁・文化庁から「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が示されました。スポーツ庁の発表をうけ、千葉県教育庁保健体育課から「運動部活動の地域移行について」の達成目標として、令和4年度中に全ての市町村で協議会を設置すること、令和5年度は、休日の地域部活動は各市町村1部活以上地域移行、令和6年度は全中学校1部活以上地域移行、令和7年度以降は全中学校部活動完全地域移行と示されました。12月下旬にスポーツ庁から令和5年度は調査期間と示されたが、千葉県教育庁は、計画どおりに進めていく方向性を示しました。</p> <p>このことから、富津市としては、富津市の中学校生徒にとって望ましい部活動の環境の構築及び教職員の働き方改革等の実現に向けて、中学校における部活動の段階的な地域移行に関する課題に総合的に取り組むため、富津市部活動地域移行協議会を設置することといたしました。委員は12名以内とし、共に様々課題や今後の計画・運営について検討していきます。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>次に、生涯学習課所管事業について、事務局の説明をお願いします。</p> <p>はい。それでは、私から生涯学習課新規事項、「図書館の利用促進」について御説明いたします。</p> <p>資料2の10 ページを御覧ください。</p> <p>令和5年1月に電子図書館を導入し、令和5年4月1日に市立図書館の開館を迎えました。開館から約1か月半が経過しましたが、5月14日現在、約3万5千人の来館者があり、幅広い世代の方々に御利用いただいております。今後は、更なる図書サービスの充実を図るとともに、多くの市民に図書館に来館してもらえるよう、指定管理者である図書館流通センターと緊密に連携しながら、利用の促進を図ってまいります。</p> <p>図書館協議会については、年4回程度開催し利用者の声を吸い上げながら、年々成長できる図書館の基盤づくりに努めます。</p> <p>また、図書館の郷土資料コーナーには、市指定文化財である「大日本史」や市内で出土した円筒埴輪、人物埴輪などを展示しています。今年度は、年に3回程度の入れ替えを予定しており、日本遺産本認定を目指している</p>
----------------------------------	--

鋸山や、発掘調査で出土した古代の土器などを展示し、知ってもらい、感じてもらうことで、郷土愛の醸成の一助などとなるよう進めてまいります。

11 ページを御覧ください。

次に、継続事業のうち、特に重点を置く、「鋸山日本遺産「候補地域」を活用した地域活性化事業の実施」について、御説明いたします。

鋸南町と共同し、地域活性化事業（組織整備、戦略立案、人材育成、環境整備、普及啓発）に取り組み、令和6年度の日本遺産認定を目指しています。なお、日本遺産候補地域としては、3か年事業の最終年度となります。

今年度の具体的な事業としては、協議会の事業のとおりであります。特に上から3つめの、鋸山石切場遺構・日本寺千五百羅漢調査事業では、千五百羅漢像の実数や各羅漢像の保存状態がこの調査により明らかとなってきています。上から5つめの、有償ガイド育成事業では、昨年度末において、24人の方々が年間を通じてガイド研修を受講しました。今年度は、更に実地研修などを行い、スキルアップを図ることを予定しています。

上から7つめの、鋸山活用環境整備事業では、金谷側・保田側の両方に案内看板を設置していきます。一昨年、富津市・鋸南町の地域の児童生徒の投票によって決定したシンボルマークを活用したデザインの看板とすることで、日本遺産に向けての統一感も図ります。

その下の、域内小中学校での普及啓発活動では、昨年度に引き続き、富津市・鋸南町の小中学校で、「鋸山の教室」と題した出前授業を実施するとともに、両市町から各々、鋸山の頂上を目指し登山する教室も検討しており、児童生徒が地域への誇りと愛着を持つことにつながるよう進めてまいります。

生涯学習課の説明は、以上です。

ありがとうございました。

最後に、公民館所管事業について、事務局の説明をお願いします。

はい。公民館から御説明いたします。

資料2の14ページをお開きください。

公民館の重点取り組みのうち、新規事項につきましては、2点ございます。

1点目、「市民会館の借地に関する地権者との調整」です。市民会館の借

事務局
(平野部長)
公民館長

	<p>地部分に関する不動産鑑定評価を行い、用地買収に向けた地権者との調整を行います。6月に不動産鑑定事務所への意見書作成依頼、7月に意見書を基にした土地代算定、8月以降、地権者との折衝を行うこととしています。進捗状況により前倒しで行うことを考えています。</p> <p>2点目、「埋立記念館の活用について検討」です。他自治体の類似施設について情報収集及び調査研究を行うとともに、今後の活用について検討を行います。類似施設における展示内容等の視察を第3回公民館運営審議会に合わせて実施し、第4回公民館運営審議会にて諮り、活用（案）のとりまとめを進めることとしています。</p> <p>次に資料の15ページをお開きください。</p> <p>継続事業としましては、2点ございます。1点目、「学級・講座の充実」、次年度に向けた検討です。3館で実施している学級・講座について、対象区分として高齢者、成人、趣味教養などに応じた開講数のバランスを検討するとともに、学級・講座参加者や公民館来館者にアンケート調査等を実施し、開講内容に対するニーズの把握に努め、次年度計画を公民館運営審議会に諮ることとしています。</p> <p>2点目、「老朽施設（老朽箇所）の計画的補修及び施設整備」です。各館の補修につきましては、それぞれの保守点検業務等で報告のありました修繕箇所を予定しています。主に、消防用設備、浄化槽設備、給排水設備に関する補修となっております。また、施設の整備につきましては、各館ともに空調設備の工事を予定しております。</p> <p>公民館は、以上でございます。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>それでは、各課の説明が終わりましたので、質疑及び意見交換をさせていただきます。</p> <p>委員の皆様、どの事業でも結構でございます。</p> <p>質問・意見等ございますか。</p> <p>はい。鳴野委員。</p> <p>はい。資料2の3ページ、教育センターの国際交流海外派遣の推進についてですが、カールスバッド市への派遣交流の予算、補助金200万円は金額が大きいのではないのでしょうか。事業に反対ではありませんが、生徒の国際感覚を磨くとともに、語学力向上を図る目的は分かります。特定の選</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	
<p>鳴野委員</p>	

<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>ばれた生徒だけ4、5人だけが対象で、それならばもっと多くの生徒が使う事業に使用したらどうかと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>はい。教育センター所長お願いします。</p>
<p>教育センター 所長</p>	<p>はい。お答えします。</p> <p>多くの子供たちに予算を活用できればよいのですが、今、選考会を実施しております。選考会で生徒にどんな力をつけて、富津市にどんな貢献ができるか聞いています。語学力だけではなく、貴重な経験や豊かな学びについて、帰って来てからの報告会で生徒等に広めてもらえたらと思っています。</p>
<p>嶋野委員 教育センター 所長</p>	<p>9月の報告会はどのくらいの規模で実施されますか。生徒全員ですか。</p> <p>はい。今検討しているところです。案としては、市役所、学校、地域での報告会等を検討しています。</p>
<p>嶋野委員</p>	<p>しっかりと報告会を行っていただきたいと思います。また、次年度以降、この事業について検討をしていただきたいと思います。</p>
<p>教育センター 所長</p>	<p>はい。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>
<p>嶋野委員 事務局</p>	<p>はい。</p> <p>ほかにございますか。</p>
<p>(平野部長)</p>	<p>藤平教育長職務代理人。</p>
<p>藤平教育長職務代理人</p>	<p>はい。良好な教育環境の提供の教育備品の学校間で貸し借りしやすい環境の整備、楽器等備品の新たな調達方法の検討と掲げられていますが、何校か統合されましたが、その学校の備品をどのように活用していますか。</p> <p>また、意見として1点目、各学校の備品台帳をデータ化して閲覧できる環境を整えば、欲しい物が欲しい時期に柔軟に教育課程の変更が可能であれば、年間計画を変更し学校間で調整でき、備品の活用ができるのではないのでしょうか。</p> <p>全てをデータ化するのは膨大な作業ですので、音楽の授業で打楽器が必要、国語の授業で参考図書が必要等、必要なものに特化してデータ化し、各学校での共有を図ったらどうでしょうか。</p>

<p>事務局 (平野部長) 教育総務課長</p>	<p>1点質問、2点の意見について教育総務課長お願いします。</p> <p>はい。お答えします。</p> <p>どのように活用しているか。希望して各学校で購入したものは、購入した学校で使用する人が多いです。</p> <p>統合した学校の備品につきましては、希望の学校に振り分けて活用しています。</p> <p>また、各学校の備品データを更新して配付をし、共有をするようにしていますが活発ではありません。委員のおっしゃるとおり良く利用する物に特化して、利用が促進するのか検討してまいります。</p>
<p>事務局 (平野部長) 藤平教育長職務代理者 教育総務課長 藤平教育長職務代理者 教育総務課長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>1つのデータにアクセスすると、全部の学校が見ることができるということでしょうか。</p> <p>システムではなく、同じデータを各学校に配付しています。</p> <p>例えば、大佐和中学校が天羽中学校にある備品を確認できるということですね。</p> <p>はい。そうです。</p>
<p>事務局 (平野部長) 藤平教育長職務代理者</p>	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p>
<p>事務局 (平野部長) 池田委員</p>	<p>ほかにございますか。</p> <p>池田委員。</p> <p>はい。教育センターから説明がありました部活動の地域移行についてですが、ガイドラインやスケジュールも示されています。先生方の働き方改革を含めて、部活動の在り方を見直す、正にそういう時期に来ていると思います。ただ、一斉一律的に進めていいのであろうか。地域、学校によって実情が違います。果たして受け皿となる団体、個人がいらっしゃるのでしょうか。あるいは当事者である生徒、先生方はどう認識しているのか。地域、学校によってはばらつきがあるので、その辺を踏まえて進めていかないと机上の空論になってしまいます。今年度は、協議会の設置と第一ス</p>

	<p>テップとして取り組むということですが、地域の実態を把握して御協議いただきたいという希望です。その点、御留意いただきたいと思います。意見です。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>はい。ありがとうございます。 ほかにございますか。</p>
	<p>嶋野委員。</p>
<p>嶋野委員</p>	<p>はい。部活動地域移行に関しては、定例会のなかでは何度か意見を述べさせていただきましたが、市長さんがいらっしゃいますので再度私の考えを聞いていただきたいと思います。</p>
<p>高橋市長</p>	<p>はい。</p>
<p>嶋野委員</p>	<p>私は、部活動地域移行に関しては今でも反対です。そもそも教員の働き方改革を基に進められていると思います。しかし、地域移行ともなれば指導するクラブの月謝、保険等、金銭的に保護者に負担がかかる可能性があります。勝利至上主義の運営になりかねないということが懸念されます。</p>
	<p>公立中学校の部活動、特に運動部は強豪校にするのではなく、学校教育の一環として、生徒の人間的な成長を望む活動だと思っています。部活動で生まれる先生と生徒の絆、生徒同士の絆が何よりも重要です。大人が中学校生活の思い出として、部活動を思い浮かべる人も多いと思います。部活動が学校生活を成立させる大事なピースになっているのではないのでしょうか。</p>
	<p>地域移行が、子供たちの学校へ行く楽しみを失わせることになるのではないのでしょうか。教員も自分の経験を活かした部活動を、生徒に教えることを志願理由として教員になった方もいらっしゃると思います。文武両道の文武が、学校教育からなくなってしまうのではないのでしょうか。</p>
	<p>教員の働き方改革については部活動を全て地域移行ではなく、他に方法があるのではないかと。教員が部活動を選択し、部活動の顧問の出勤時間を遅らせるシフト制にして長時間労働を是正する。教員数を増やす、部活動指導の報酬を上げる、種類を減らして複数の教員で交代制としてはどうでしょうか。教員数を増やすこと、手当を上げる等がネックではないのでしょうか。保護者負担より良いと思います。</p>
	<p>この件については、スポーツ庁、文化庁のガイドラインに従ってですが、学校は学習塾ではありません。学校を学習塾にしてはいけません。</p>

<p>事務局 (平野部長) 高橋市長</p>	<p>は強く思います。市長さんはどのようなお考え、御意見をお持ちでしょうか。</p> <p>はい。高橋市長。</p> <p>はい。嶋野委員並びに池田委員からの部活動の地域移行のお話がありました。私もコロナが明けて、イベントや大会にお邪魔するなかで、先生方のOBの方に、嶋野委員のようなお考えをお聞きする機会があります。個人的には非常に難しい問題だと思います。学校の先生の中には部活動でしっかり子供たちの信頼を勝ち得て、人間形成につなげていく方もいらっしゃいます。自分自身の学生の時の思いも含めて感じます。</p> <p>しかしながら、働き方改革として表に出たなかで提案されているとなると、これを覆していくには、現場の声をしっかり上げていくことが必要だと思います。もし文科省が上の意見だけ、自分たちの思いだけでこれを進めているのであれば、学校現場の先生、生徒の意見が違うことを耳に届けてもらふ必要があると思います。責任から逃げているよう聞こえるかもしれませんが、教育長、教育委員も出席していらっしゃいますので富津市に限らず、そのような声が多いとするなら、教育現場をつかさどる方たちが教育現場の声をまとめていただき、国県にお話しする機会が必要ではないでしょうか。いろいろな方たちの意見を聞けば聞くほどそのように感じます。その中で、人員数等の課題であれば行政が考えていかなければいけないと思います。池田委員、嶋野委員と考えがけっして離れてない場所にあると思います。</p>
<p>事務局 (平野部長) 嶋野委員 事務局 (平野部長) 藤平教育長職務代理者</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>嶋野委員、よろしいでしょうか。</p> <p>はい。</p> <p>ほかにございますか。</p> <p>はい。藤平教育長職務代理者。</p> <p>はい。文化財の保存・活用のための整備についてお伺いします。富津市の管轄ではないと思いますが、県立富津公園に戦争関係の歴史的な遺産がたくさんあります。去年の夏に見学したところ荒れ放題で残念でした。県の管轄でしょうが、富津市にとっても大変貴重な学習の場、文化財であると思います。また、観光スポット、レジャースポットとしての活用の場で</p>

<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>あると思います。県と市と共同的な取組は、どのような形で行われるのでしょうか。行うことが可能でしょうか。</p> <p>はい。生涯学習課長お願いします。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>はい。生涯学習課としては国・県・市の指定文化財が合計で83あります。これらを中心に保存・活用をしています。また、これらに準ずる地域の多くのものに関わりを持っています。そのなかでお話のありました富津公園は県の管轄ですので、生涯学習課として協議するチャンネルを持ち合わせていません。おっしゃるとおり、戦争関係の歴史的な遺産ですので、市内の商工観光課と都市公園を管轄する部局と連携を図りながら、意見交換を進めてまいりたいと思います。</p>
<p>藤平教育長職務代理者</p>	<p>はい。</p>
<p>事務局 (平野部長)</p>	<p>はい。高橋市長。</p>
<p>高橋市長</p>	<p>はい。生涯学習課長が申しましたが、管轄が他部他課にまがりますので補足させていただきます。委員のおっしゃるとおり、県立公園であり、一部は国定公園にかかり、松林は保安林もかかっており非常に難しい場所です。しかし、富津市にとっては魅力のある場所で重要です。</p> <p>今の知事が就任した時に、富津公園を視察していただきました。市の方から「富津公園の再活用について、更なる人の流れを作ってくれるような展開を期待したい。」との要望をいたしました。昨年度中に、富津公園における再整備についての協議会を立ち上げていただき、数回会議を開催していただいています。民間活力を導入した富津公園の再整備について、民間の御意見をいただくよう県が進めていただいています。そのなかで市として、ヘリテージング、戦争遺跡の活用、人の流れを作る、公園が陸上の合宿の特に長距離のメッカであることから走路の更なる整備をお願いしています。どういう意見があるか待っている状況です。</p> <p>いずれにしても、検討から始めないと何も進みません。この協議会に市からも担当課長2名が参加しております。しっかりと市の考えを伝えながら臨んでいきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p>

<p>(平野部長) 池田委員</p>	<p>ほかにございますか。</p> <p>本日の議題から離れてしまうかもしれませんが、多くの自治体は人口減少社会の対応が課題となっていますが、特に子育て世代の定住・移住を促進させるには、学校教育のハード、ソフト充実が大きな要因となってくると思います。あらゆる面で総合的に平均点以上取るのは大事だと思います。</p> <p>かねがね富津の教育で突出しているものがあるのも良いのではと思います。岡根教育長が御就任以来、読書教育に非常に一生懸命取り組んできました。子供たちの読書への関心度も上がってきています。待望の図書館も開館しました。そういう部分で特色のある読書教育を打ち出して、「読書教育と言えば富津市」と言っていたらいいような何かがあるということは、子育て世代に対してのピーアールポイントだと思います。</p> <p>あれもこれもではなく最重点事項として、ここに力を入れてやるということが今後必要になってくると思います。そういう視点での学習施策の検討が、これから必要ではないかと思っています。いかがでしょうか。</p>
<p>事務局 (平野部長) 高橋市長</p>	<p>はい。高橋市長。</p> <p>私の立場からすると、総合的の部分にあたってしまってもいいかもしれませんが、環境の整備は最低限の安心安全の部分で、エアコンであったり、トイレであったり、建て替えであったり、図書館の整備をこれからも進めていかなければなりません。</p> <p>ソフト面では、岡根教育長の言われている「図書館を充実させて、子供たちに読解力を身につけること」がデジタル社会でも必要なので、岡根教育長の考えに賛同しました。市長として図書館を整備したいと思い、何より現場の担当が頑張ったので4月1日がありました。</p> <p>今後、池田委員が言うとおりに教育に関する親御さんの関心は高いので、何か皆さんが期待をもつただけのメニューができれば素晴らしいと思いますし、教育長並びに先生方と協議しながら何がいいのか、それが実現できるのか、意見交換をしながら進めていけたらと思います。</p>
<p>事務局 (平野部長) 岡根教育長</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>岡根教育長。</p> <p>素晴らしい課題をいただきました。読書については、特色のある読書活</p>

<p>池田委員 事務局 (平野部長)</p> <p>教育総務課長</p>	<p>動まで進んでいないのが実態です。「本を好きになること、読むことを習慣づけること」が基本ベースにあって、先ほど、市長がおっしゃられたように、読解力をつけるうえでの一丁目一番地とういことで、各学校に工夫していただいています。各学校長の目標申告の中にも必ず読書が触れられ、学校経営のベースにしています。読書活動をどう特色づけていくのか、夢のある活動の1つであると思います。</p> <p>もう1つは誇りと愛着というみらい構想のうえで、富津市を知ってもらう活動が重要で、富津市の様々なポテンシャルのある産業や文化財等を学校の中で知ってもらう。今年は、中学生はキャリア教育の中に、産業の中に視点を入れてもらう、小学生には学区以外を知って見直してもらう。</p> <p>最後に、「あったかふつつ」という良いフレーズがあって、市民の皆さんの人と人とのかかわりの温かさを、風土として残していかなければいけないと感じています。各学校には、ボランティアや親切、これらの活動を工夫して子供たちに継承していただきたいと先生方に話しています。この3点が学校長にお願いしている内容です。</p> <p>まず、この3点を実施しながら、富津市の素晴らしいソフト面を充実が図れたら良いと思っています。また、お知恵をいただきたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにございますか。</p> <p>それでは、本日の議題は終了しましたので、これをもちまして、令和5年度第1回富津市総合教育会議を終了します。</p> <p>本日、頂戴した御意見・御提案につきましては、今後、十分留意して、取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>本日はありがとうございました。</p> <p>最後に、事務局からお知らせがあります。</p> <p>はい。長時間にわたって御協議いただきありがとうございました。</p> <p>引き続き、教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>一旦休憩とし、開始は2時30分といたしますので、よろしく願います。以上です。</p>
--	--